

栃木市長 鈴木 俊美 様

栃木市議会 議長 関口 孫一郎

議会報告会実施に伴う提言について

本市議会では、市民への説明責任を果たし、市民との連携を強化するため、議会基本条例第8条の規定に基づき、議会報告会を実施しているところであります。

本年度においても、去る10月21日から11月12日にかけて、市内19カ所で議会報告会を開催したところであり、その結果について別添のとおり報告書を取りまとめました。

報告会では、多くの市民から市政に関する様々のご意見を頂戴し、その中には、今後の市政を運営する上で参考とすべき内容のご意見もあり、それらを市政に反映することは、市民を中心とした市民自治を進める上で必要不可欠であると考えております。

そこで、本市議会といたしまして、報告会において市民からいただいたご意見のうち、参考とすべき事項を下記のとおり提言いたしますので、十分ご配慮いただき、市政運営に当たられますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、本市議会といたしましても、一般質問による政策提言や常任委員会等での審査を通して、積極的にその責任を果たしてまいりますので、重ねてお願い申し上げます。

記

1. 合併に対する不安、不満の解消について

合併によるサービスの低下、合併のメリットが見えない等を指摘する意見が散見された。実際には合併前と比較し、全体として各地域におけるサービスの向上が図られているところであるが、市民には、十分に理解されていない部分が見受けられた。

今後においては、市民の合併に対する不安や不満を解消するよう、さらに、広報活動に取り組まれない。

2. 地域医療の充実について

あらためて、「一般財団法人とちぎメディカルセンター」に対する市民の関心の高さを確認したところである。本市議会としても、産科及び婦人科の設置は本市の少子化対策、定住促進対策に大きく貢献するものと考えられるため、運営主体との協議を進められ、必要な支援を実施されたい。

3. 安全・安心なまちづくりについて

(1) 交通防犯対策の充実について

交通防犯に関する市民の関心は高く、小中学校の通学路における信号機やミラーの設置、とりわけ防犯灯の設置に関する多くの要望をいただいたところである。市民生活を脅かす悪質な犯罪が頻発しており、社会不安が広がっている中で、本市においては、LED防犯灯の設置などにより、市民の不安を解消するため、積極的に対策を講じているところであるが、さらに、市民が安心して生活することができる環境づくりを進められたい。

(2) 消防団員の確保について

近年、本市においても自然災害が発生するなど、地域防災の要である消防団の重要性が高まっている。しかしながら、本市の実情としては、消防団員の定数に対する充足率が満たない地域もあることから、待遇改善を図るなどして、団員の確保に必要な施策を講じられたい。

(3) 空き家対策について

さらに、市内各所で空き家が増加傾向にあり、空き家の適正な管理を求める要望も数多く寄せられた。空き家等を適正に管理し、有効活用を図ることは、良好な生活環境を確保するだけでなく、地域の活性化に寄与するものと考えられる。本市では、条例を制定するなど、空き家対策の充実に努めているところではあるが、個別の事情を抱えるケースもあることから、引き続き、きめ細やかな対応に取り組まれたい。

4. 生活基盤の整備について

(1) 生活道路の整備について

主要基幹道路の整備はもとより、市民生活に密着した道路の整備に対する多くの要望が寄せられた。その大半は、通学路等の拡幅や生活道路の適切な維持管理や補修への要望である。市域が拡大し、維持補修が必要な生活道路が増加しているが、将来に渡って安定的な行政運営をしていくためには、道路を含む公共施設を計画的に維持管理していく必要があると考えられる。そのため、整備等の緊急度や優先度とともに財政的な面を考慮しながら、各地域の生活道路等の整備を順次進められたい。

(2) 公園の適正な管理について

合併後に、除草や樹木の手入れなど管理が行き届かなくなっているとの複数の意見があった。また、地域によって、公園の管理主体が異なるなどの課題があることも確認できたところである。限られた財源、人材を有効に活用するため、公園の里親制度の活用や地域自治会等への管理委託などを進め、公園利用者が利用しやすい環境づくりができる適正な管理に努められたい。

(3) 公共交通の充実について

ふれあいバスについては、停留場へのベンチ設置や運行ルートの変更等の利便性向上に対する要望が多く寄せられた。本市議会としては、ふれあいバスは高齢者等交通弱者の足であるとともに、本市の“地域と地域”“人と人”を結ぶ重要な公共交通であると理解しているが、一方では費用対効果についても考慮すべきものと考えている。そのためにも、利用者の利便性を高め、多くの市民等に利用していただくことで、収益性を高められるようなバスの運行について検討されたい。

5. 地域産業の振興について

(1) 有害鳥獣対策について

市北西部（西方、都賀、寺尾、皆川、吹上、大平及び岩舟）地域の中山間地において、イノシシやシカ等による農作物や市民生活への被害が増加し、駆除等の対策を訴える声が数多くあった。執行部においては、各種補助制度等の支援を実施するとともに、新年度においては、専任組織の設置を予定し、対策への強化を図ろうとしているところであるが、中山間地域における農地を保全し、農業の振興を図るとともに、市民の良好な生活環境を確保するため、引き続き支援の充実を図られたい。

(2) 地元事業者の優先発注について

備品や消耗品等の購入については、競争性の確保に配慮しつつ、本市の地域経済の振興を図る観点から、地元の事業者への優先的な発注に努められたい。また、発注に当たっては、受注者の多くが中小事業者であることを鑑み、受注事務の簡素化に努められたい。

[添付資料]

平成26年度議会報告会結果報告書

[参考] …平成26年度 議会報告会結果報告書抜粋（14ページ）

1. 議会報告会での発言内訳

- ・意見（要望） 188件
- ・質疑 78件
- 計 266件

2. 意見（要望）の内訳 … 計188件

- ・議会について 21件
- ・市税について 4件
- ・行政運営について 19件
- ・広報について 4件
- ・消防防災について 3件
- ・選挙について 2件
- ・地域医療について 9件
- ・交通防犯について 12件
- ・ふれあいバスについて 5件
- ・防犯灯について 6件
- ・福祉について 11件
- ・環境について 12件
- ・農林業について 8件
- ・有害鳥獣について 9件
- ・商工観光について 3件
- ・学校教育について 15件
- ・生涯学習について 4件
- ・道路整備について 27件
- ・河川整備について 5件
- ・公園整備について 8件
- ・その他 4件

